

(様式第1号)

研究No. (記載不要)	18 - デ学 - 4
-----------------	-------------

平成 18 年度配分 研究成果の概要

研究名	ポスターの文化的価値に関する研究とポスターの収集-その2				
配分を受けた特別研究費	デザイン学部部長特別研究費				3,000千円 千円
研究者氏名 (代表者)	学部名	学科名	職	氏名	共同研究の場合の分担
	デザイン学部	生産造形学科	教授	佐井 国夫	総括
共同研究者	デザイン学部	メディア造形学科	教授	宮内 博実	資料検討
	文化政策学部	芸術文化学科	准教授	谷川 真美	展示、収納方法の検討
		前デザイン学部 学部長	名誉教授	渡邊 章互	協力
発表の方法 (予定で可)	1 紀要		号数	第 年 号 (年 月発行)	
	2 学会等での発表 学会等名:		発表日 (発表 予定日)	平成 年 月 日	
	3 その他 発表の方法: 1) ポスターの一部学内展示(3階ロビー) 2) 解説パンフレットを作成 3) 授業資料の活用		発表日 (発表 予定日)	1) 平成19年3月 2) 平成19年12月 3) 平成19年10月	

注:配分を受けた翌年度の6月末までに提出

(研究の目的等)

今年も昨年度の研究を継続して、グラフィックデザイン界で秀作と評価されている内外のポスターを収集し、その価値を評価して活用法を研究する。

(研究の実施方法等)

- 1) 国内のポスターを中心に引き続き収集を行う。
- 2) 国内ポスターの評価や解説を行う。
- 3) ポスターの一部を新しく入れ替え、学内で展示する(3階ロビー)。
- 4) 収集したポスター(欧米ポスター100)の展示企画及び解説パンフレットを作成する。
- 5) グラフィックデザイン演習などにおける教育資料として活用する。

(得られた成果等)

- 1) グラフィックデザイン教育の貴重な原物教材について、相当規模の量を保有することにより、学校の存在を表明することができる。
- 2) 学内の展示を定期的に変更することで、デザイン学校としての空間演出ができる。
- 3) パワーポイント等のメディアを活かし、グラフィックデザイン演習の教材の一部として授業等に活用することができる。
- 4) グラフィックデザイン教育の貴重な原物教材をある規模の量を保有することにより、学校の存在を表明することができる。